

地域と響きあう！ ローカルシンフォニーin大崎町

3月30日（火）あすばる大崎において『地域と大学のローカルシンフォニー in 大崎町』が開催されました。

これは、鹿児島大学が社会貢献をこれまで以上に推進させるために平成20年度より始めたもので、大学の研究者、学生、大崎町の住民と一緒に地域を活性化させようというものです。この日は、町内の企業、各組織のリーダーや住民など約70人が集まりました。

推進委員長小林平蔵教授と推進委員の小原幸三教授から、プロジェクトの意義や進め方について講演が行われ、地域の課題など様々な情報交換が行われました。

今後は特別講座のほか、地域住民等との共同学習や共同調査・研究などを行い、地域社会の課題解決や活性化策の提案等について学生も含めた事業を展開する予定です。



▲参加者から活発な意見が飛び出し大学関係者と有意義な検討会となりました。

全小学校へホウキを寄贈！

4月20日（火）シルバー人材センターは、町内の全小学校にホウキを寄贈いたしました。

製作したのは、同センター会員の齋藤道盛さんで、ホウキ職人だった父親から、技術を習得したそうで、約1週間かけて50本の庭ぼうきを製作されたそうです。

学校を綺麗にしてほしいことと、地域の子も達と会員の交流の架け橋になればとの思いから同センターが、各学校を訪問し、子ども達に手渡しました。

農業を知って！ 異業種スポーツ交流！

▼ペタンクで交流する農業青年倶楽部員と参加者



4月17日（土）、大崎町農業青年倶楽部は、部員同士の親睦を深めることと、接点の無い他業種の方々幅広い交友関係を深めようと、スポーツ交流会をふれあいの里公園芝生広場で行いました。

参加者の男女合計15名は、フランスが発祥の鉄玉を投げて競う『ペタンク』に挑戦しました。

はじめての競技を通じて、次第に打ち解け合い、情報交換や交流を図りました。

同部会長前田英樹さん（養豚業）は、「今後は、スポーツだけでなくもっと色々な事を企画し、より多くの方々と交流して、農業のことを知ってもらいたい」と話されました。



▲ホウキを製作した齋藤道盛さんと大崎小代表生徒